

宮城県水産高等学校 [全日制課程 (船舶運航科)]

★ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県水産高等学校は「貴禮節、順師長 (礼節を貴び、師長に順うべし)」、「本至誠、重廉恥 (至誠をもとし、廉恥を重んずべし)」、「旨忍耐、励業務 (忍耐を旨とし、業務を励むべし)」を校訓とし、学校だけでなく海や地域産業を学びの場とした3年間の志教育を通じて、地域産業に貢献できる新しい時代の水産・海洋産業のスペシャリストの育成を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 水産・海洋関連産業の職業人として、そして、生涯にわたって、社会の課題解決に取り組むための基盤となる専門的な知識を身に付けるとともに、確かな技術力を育成します。
- 水産・海洋関連産業の職業人として、そして、生涯にわたって、自らの考えを活用し、あらたな社会を創造していくための思考力、判断力、表現力等を育成します。
- 人間性とたくましさを伸ばし、水産・海洋関連産業の職業人として、そして、生涯にわたって、主体的・対話的に社会の課題解決に向かうことができる人間力を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 普通教科と専門教科の両方を重視します。
→普通教科では社会で生きる基礎力を、専門教科では水産・海洋産業で活用できる確かな技術力を養います。
- 教科横断的な学びや地域と協働した学びにより、探究的な学びを進めます。
→総合実習や課題研究を中核として、教科横断的な学びを深め、地域社会が抱える諸課題の中から自ら課題を設定し、その解決に向けた探究的な学習を行います。
- 特色ある専門科目や習熟度別の授業を設定し、個に適した学びを実現します。
→生徒間の理解度の差が大きい教科を中心に習熟度別授業を実施し、基礎学力の確実な定着をはかるとともに、生徒の専門分野への進路希望実現に資する多様な専門科目を設定します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 豊かな人間性とたくましさをもち、自ら学び、自ら創意工夫し、自らの考えを活用して活動する、次のすべてに当てはまる生徒を求めます。
- 海が好きで、釣り、船、エンジンに興味があり、入学後は船を動かすための様々な知識や技術・技能の習得と専門および関連分野への就職や専攻科・大学等の進学を目指す生徒
 - 中学校での部活動をはじめとした諸活動において積極的な取組があり、入学後も継続し努力できる生徒
 - 宮城丸の航海を通して魚のとり方や、ものの輸送等を学び、国際感覚や国の産業を支える有用な人材として海や港を中心に活躍する事を目標の一つとして考える生徒
 - 何事にも諦めず粘り強く取り組み、ルールをよく守り、日々の授業を大事にする生徒
 - 一級小型船舶操縦士から海技士 (大型船の資格)、フォークリフトなど、その他あらゆる資格に積極的にチャレンジし自身の成長や能力発展に向き合える生徒

学校名	宮城県水産高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	船舶運航科	募集定員	40人

第一次募集 (選抜方法等)	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜		
	第2志望とすることができる学科・コース	生物環境科・食品科		
	共通選抜			
	募集人数	20人 (募集定員の 50%)		
	学力検査:調査書	6 : 4		
	学力検査点 (500点満点) と調査書点 (195点満点) の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。			
	特色選抜			
	募集人数	20人 (募集定員の 50%)		
	配点	1 調査書	390点	合計
		国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする		
2 学力検査		125点	695点	
国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を0.25倍にする				
3 面接	180点			
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する20人の120%の範囲に含まれる者(24人)を対象として行う。 学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、総合的に審査し、選抜する。 			
面接・実技・作文のうち実施するもの	面接	1 形態: 集団面接 2 時間: 15分程度 3 内容: (1) 志望動機 (2) 中学校での活動状況 (3) 将来の進路希望 (4) その他 4 観点: (1) 態度 30点 (2) 表現力等 150点 ※2日目に実施		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集 (選抜方法等)	配点	1 調査書	225点	合計
		国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする		
		2 学力検査	300点	525点
	国語、数学、英語 : 各教科100点満点			
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。			

宮城県水産高等学校 [全日制課程 (生物環境科)]

★ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県水産高等学校は「貴禮節、順師長 (礼節を貴び、師長に順うべし)」、「本至誠、重廉恥 (至誠をもとし、廉恥を重んずべし)」、「旨忍耐、励業務 (忍耐を旨とし、業務を励むべし)」を校訓とし、学校だけでなく海や地域産業を学びの場とした3年間の志教育を通じて、地域産業に貢献できる新しい時代の水産・海洋産業のスペシャリストの育成を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 水産・海洋関連産業の職業人として、そして、生涯にわたって、社会の課題解決に取り組むための基盤となる専門的な知識を身に付けるとともに、確かな技術力を育成します。
- 水産・海洋関連産業の職業人として、そして、生涯にわたって、自らの考えを活用し、あらたな社会を創造していくための思考力、判断力、表現力等を育成します。
- 人間性とたくましさを伸ばし、水産・海洋関連産業の職業人として、そして、生涯にわたって、主体的・対話的に社会の課題解決に向かうことができる人間力を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 普通教科と専門教科の両方を重視します。
→普通教科では社会で生きる基礎力を、専門教科では水産・海洋産業で活用できる確かな技術力を養います。
- 教科横断的な学びや地域と協働した学びにより、探究的な学びを進めます。
→総合実習や課題研究を中核として、教科横断的な学びを深め、地域社会が抱える諸課題の中から自ら課題を設定し、その解決に向けた探究的な学習を行います。
- 特色ある専門選択科目や習熟度別の授業を設定し、個に適した学びを実現します。
→生徒間の理解度の差が大きい教科を中心に習熟度別授業を実施し、基礎学力の確実な定着をはかるとともに、生徒の専門分野への進路希望実現に資する多様な専門科目を設定します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 豊かな人間性とたくましさをもち、自ら学び、自ら創意工夫し、自らの考えを活用して活動する、次のすべてに当てはまる生徒を求めます。
- 海洋生物や海洋環境に関する学習やマリンスポーツに強い興味・関心があり、本校入学後は専門知識や技術・技能の習得と専門分野での就職や大学等への進学を目指す生徒
 - 中学校での部活動をはじめとした諸活動において積極的な取組があり、入学後も継続し努力できる生徒
 - 早寝早起きに努め、朝ご飯を食べる習慣があり、自分をよくコントロールできる生徒
 - 何事にも諦めず粘り強く取り組み、ルールをよく守り、日々の授業を大事にする生徒
 - 一級小型船舶操縦士、ダイビング、フォークリフト、英検、その他あらゆる資格に積極的にチャレンジし自身の成長や能力発展に向き合える生徒

学校名	宮城県水産高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	生物環境科	募集定員	40人

第一次募集 (選抜方法等)	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜		
	第2志望とすることができる学科・コース	船舶運航科・食品科		
	共通選抜			
	募集人数	20人 (募集定員の 50%)		
	学力検査:調査書	6 : 4		
	学力検査点 (500点満点) と調査書点 (195点満点) の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。			
	特色選抜			
	募集人数	20人 (募集定員の 50%)		
	配点	1 調査書	390点	合計
		国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする		
2 学力検査		125点	695点	
国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を0.25倍にする				
	3 面接	180点		
	選抜方法	・ 審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する20人の120%の範囲に含まれる者(24人)を対象として行う。 ・ 学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、総合的に審査し、選抜する。		
	面接・実技・作文のうち実施するもの	面接	1 形態: 集団面接 2 時間: 15分程度 3 内容: (1) 志望動機 (2) 中学校での活動状況 (3) 将来の進路希望 (4) その他 4 観点: (1) 態度 30点 (2) 表現力等 150点 ※2日目に実施	

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集 (選抜方法等)	配点	1 調査書	225点	合計
		国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする		
		2 学力検査	300点	525点
	国語、数学、英語 : 各教科100点満点			
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。		

宮城県水産高等学校 [全日制課程 (食品科)]

★ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県水産高等学校は「貴禮節、順師長 (礼節を貴び、師長に順うべし)」、「本至誠、重廉恥 (至誠をもとし、廉恥を重んずべし)」、「旨忍耐、励業務 (忍耐を旨とし、業務を励むべし)」を校訓とし、学校だけでなく海や地域産業を学びの場とした3年間の志教育を通じて、地域産業に貢献できる新しい時代の水産・海洋産業のスペシャリストの育成を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 水産・海洋関連産業の職業人として、そして、生涯にわたって、社会の課題解決に取り組むための基盤となる専門的な知識を身に付けるとともに、確かな技術力を育成します。
- 水産・海洋関連産業の職業人として、そして、生涯にわたって、自らの考えを活用し、あらたな社会を創造していくための思考力、判断力、表現力等を育成します。
- 人間性とたくましさを伸ばし、水産・海洋関連産業の職業人として、そして、生涯にわたって、主体的・対話的に社会の課題解決に向かうことができる人間力を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 普通教科と専門教科の両方を重視します。
→普通教科では社会で生きる基礎力を、専門教科では水産・海洋産業で活用できる確かな技術力を養います。
- 教科横断的な学びや地域と協働した学びにより、探究的な学びを進めます。
→総合実習や課題研究を中核として、教科横断的な学びを深め、地域社会が抱える諸課題の中から自ら課題を設定し、その解決に向けた探究的な学習を行います。
- 特色ある専門選択科目や習熟度別の授業を設定し、個に適した学びを実現します。
→生徒間の理解度の差が大きい教科を中心に習熟度別授業を実施し、基礎学力の確実な定着をはかるとともに、生徒の専門分野への進路希望実現に資する多様な専門科目を設定します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 豊かな人間性とたくましさをもち、自ら学び、自ら創意工夫し、自らの考えを活用して活動する、次のすべてに当てはまる生徒を求めます。
- 魚介類を中心とした食品や科学 (化学・生物) の分野に強い興味・関心があり、本校入学後は専門知識や技術・技能の習得に努力し、調理師や船舶料理士、その他食関連産業への就職や大学や短大、専門学校等 (水産系、食品系、栄養・調理系) への進学を目指す生徒
 - 中学校での部活動をはじめとした諸活動において積極的な取組があり、入学後も継続し努力できる生徒
 - 早寝早起きに努め、朝ご飯を食べる習慣があり、自分をよくコントロールできる生徒
 - 何事にも諦めず粘り強く取り組み、ルールをよく守り、日々の授業を大事にする生徒
 - 調理師免許、簿記検定、ビジネス文書検定、その他あらゆる資格に積極的にチャレンジし自身の成長や能力発展に向き合える生徒

学校名	宮城県水産高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	食品科	募集定員	40人

選抜順序	共通選抜 → 特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	船舶運航科・生物環境科

共通選抜	
募集人数	20人 (募集定員の 50%)
学力検査:調査書	6 : 4
学力検査点 (500点満点) と調査書点 (195点満点) の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。	

特色選抜		
募集人数	20人 (募集定員の 50%)	
配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 695点
	2 学力検査 125点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を0.25倍にする	
	3 面接 180点	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する20人の120%の範囲に含まれる者(24人)を対象として行う。 学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、総合的に審査し、選抜する。 	

面接・実技・作文のうち実施するもの	面接	1 形態: 集団面接 2 時間: 15分程度 3 内容: (1) 志望動機 (2) 中学校での活動状況 (3) 将来の進路希望 (4) その他 4 観点: (1) 態度 30点 (2) 表現力等 150点
	※2日目に実施	

社会人特別選抜	無
---------	---

第二次募集 (選抜方法等)		
配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 525点
	2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	